

共用品推進機構だより 2020年12月3日(11)

目次

(62) 共用品推進機構関連記事

- ▽ 『日本ねじ研究協会誌』に執筆しました(連載) / 星川安之
- ▽ 『福祉介護テクノプラス』に執筆しました(連載) / 星川安之

(63) 賛助会員ニュース

- ▽ 「移動型のバリアフリートイレ/トヨタ、LIXIL」

(64) 各種催しとお知らせ

- ▽ 「第25回福祉工学カフェ『誰もが安全に生活できる“新しい生活様式”のあり方』『普及』イベントの開催」

(65) 製品関連記事

- ▽ 「文字起こし付きレコーダーなど/ソースネクスト」
- ▽ 「光る傘伝わりやすく ぴかぴかさ/インタービジネスブリッジ」

(66) その他、各種関連記事

- ▽ 「医療従事者へメンタルケア 障害者雇用の実績生かす/スタートライン」

(67) 新刊紹介

- ▽ 『発達障害チェックノート 自分が発達障害かもしれないと思っている人へ』
- ▽ 『障がい者雇用の教科書 人事が知るべき5つのステップ 改訂版』
- ▽ 『精神障害・発達障害のある方とともに働くためのQ&A50 採用から定着まで』
- ▽ 『障害社会科学の視座 障害者と健常者が共に、類としての人間存在へ』
- ▽ 『はぐくむ、はたらく、豊かに暮らす 障がいと向き合って』
- ▽ 『不自由な脳 高次脳機能障害当事者に必要な支援』

- ▽『障がいのある子が「親亡き後」に困らないために今できること』
 - ▽『車椅子の人も片麻痺の人もいっしょにできる楽しいレク 30 新装版』
 - ▽『重度・重複障害教育におけるカリキュラム評価
自立活動の課題とカリキュラム・マネジメント』
 - ▽『私の夫は高次脳機能障害です
本人・家族がおだやかに暮らすための妻たちの知恵一夫の行動研究から一』
 - ▽『HSP と不安障害 「生きているだけで不安」なあなたを救う方法』
-

(56) 共用品推進機構関連記事

▼『日本ねじ研究協会誌』に執筆しました（連載）／星川安之

「日本ねじ研究協会誌（日本ねじ研究協会）2020年11月号」に『「ねじ」と「共用品」 その(7) 誰もが履きやすい靴』を執筆しました。

- 1 はじめに
- 2 あゆみシューズの誕生
- 3 パーツオーダー
- 4 地域と共に

▼『福祉介護テクノプラス』に執筆しました（連載）／星川安之

「福祉介護テクノプラス（日本工業出版）2020年12月号」に「vol.132 オンライン座談会 障害当事者が語る新型コロナウイルス感染拡大による不便さ・工夫・望むこと② より多くの人が使えらるモノ・サービス」を執筆しました。

- ・はじめに
 - ・買い物について
 - ・気になっていること
 - ・まとめ
-

(63) 賛助会員ニュース

▼「移動型のバリアフリートイレ／トヨタ、LIXIL」

トヨタ自動車と LIXIL は車いす利用者が外出先で使う移動型バリアフリート

トイレを共同開発した。トイレを搭載した箱型の車両で、自動車がけん引することによって自由に移動して設置できる。現状車いす利用者が使用できる多機能トイレの整備は十分とはいえず、様々なイベント参加やスポーツ観戦など外出範囲を広げることに貢献する狙いだ。

名称は「モバイルトイレ」。車両は全長約 5.3 メートル、全幅 2.5 メートル、最高地上高 2.9 メートル。出入り口への動線はスロープがあり、車内は車いすが回転しやすい空間を確保し、手すりの備わった大便器など車いす利用者にとって必要な機能を兼ね備えている。車いす利用者が自分で衣服を整え、介助者が待機できる前室や、多目的に使える大型ベッドも用意している。このほど横浜市内で行われたイベントで実際に使用された。

(日経産業 11月24日12面より)

(64)各種催しとお知らせ

▼「第 25 回福祉工学カフェ『誰もが安全に生活できる“新しい生活様式”のあり方』『普及』イベントの開催」

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)は、実用性の高い福祉機器の開発・普及を目指して、国立障害者リハビリテーションセンター研究所と共に「福祉工学カフェ」を開催します。

今年度第 2 回目の開催である今回は、第 1 回目のユーザー側のニーズを受け、事業者の方々から開発製品・技術を紹介いただき、社会実装への気づきを得る「普及」のイベントを開催いたします。

- ・日時：2020年12月14日(月)13時30分～15時30分
- ・詳細は下記 URL より

https://www.nedo.go.jp/events/CA_100211.html

(65) 製品関連記事

▼「文字起こし付きレコーダーなど／ソースネクスト」

ソースネクストは同社の携帯翻訳機「ポケトーク」の技術を応用した2製品を12月4日から発売すると発表した。発売するのは8インチのディスプレイを搭載したボイス筆談機「タブレットミミ」と、文字起こし機能付きボイスレコーダー「オートメモ」。

2製品はいずれも端末から音声データをクラウドに送信し、クラウド上で音声を文字データに変換する。タブレットミミは難聴者の会話を補助する製品。机などに置いて本体に話しかけると、会話の内容が文字で画面に表示される。

もう1つのオートメモは議事録の作製などに使える。録音すると自動的に音声クラウドで文字データに変換され、専用のスマートフォンアプリやパソコンなどから確認できるようになる。

(日経産業 11月17日11面より)

▼「光る傘伝わりやすく ぴかぴかさ／インタービジネスブリッジ」

インタービジネスブリッジが開発した子ども用傘。本体に52個の発光ダイオード(LED)を全方位に配置し、夜道でも遠くから存在を確認できる。子どもの安全を守りつつ楽しんでもらえる商品作りを名称で表現した。LEDで「ぴかぴか」光ることと、「傘」をあわせた。声を出して読んだときに光るイメージが伝わり、くすっと笑ってもらえると採用した。子どもが今までに見たことのない傘に驚き、すぐに名前を覚えると期待する。11月下旬発売。

(日経MJ 11月20日5面より)

(66) その他、各種関連記事

▼「医療従事者へメンタルケア 障害者雇用の実績生かす／スタートライン」

企業向けなどに障害者雇用支援コンサルティングを手がけるスタートライン(東京都三鷹市)は、医療従事者向けのメンタルケア研修を本格展開する。新型コロナウイルス感染症の拡大などで医療従事者の負担が増す中、心理療法に関するノウハウを転用。グループで気持ちの持ち方やコミュニケーションなどについて学ぶことで、働きやすい環境づくりを後押しする。

スタートラインはこれまで障害者雇用支援サービスで、自身の不調に対処できなかつたり、悩みをうまく伝えられない人たちの職場づくりを実践してきた。産業医や臨床心理士だけではなく、企業が専門的なメンタルケアサービスを

提供する流れは、医療機関だけでなく、産業界にも受け入れられる可能性がある。

(日経産業 11月24日9面より)

(67) 新刊紹介

▼『発達障害チェックノート 自分が発達障害かもしれないと思っている人へ』

発達障害の人には、生まれつき持っている特有の性質(特性)があります。日常生活や社会生活において、困りごとや生きづらさを抱えている人たちの事例を多数取り上げ、それぞれどんな特性によるものなのかを解説します。

著：福西勇夫(ふくにし・いさお)

発行：法研

本体価格：1,600円(税別)

ISBN：978-4-86513-730-9

▼『障がい者雇用の教科書 人事が知るべき5つのステップ 改訂版』

障がい者の就労支援や企業支援を手掛けてきた著者が、障がい者雇用に関する知識やノウハウを、障害者雇用促進法の実際の導入までの敬意を踏まえながら、わかりやすく解説する。雇われる側の障がい者にも役立つ情報も満載。

著：二見武志(ふたみ・たけし)

発行：太陽出版

本体価格：1,700円(税別)

ISBN：978-4-86723-007-7

▼『精神障害・発達障害のある方とともに働くためのQ&A50 採用から定着まで』

障害者雇用について、企業・雇用現場の疑問や悩みにこたえる本。就労支援機関、採用プロセス、合理的配慮などについて、実際によくある相談事例から課題解決に役立つ実践知を集め、Q&Aで解説する。

著：眞保智子(しんぼ・さとこ)

発行：日本加除出版

本体価格：2,200円(税別)

ISBN : 978-4-8178-4670-9

▼『障害社会科学の視座 障害者と健常者が共に、類としての人間存在へ』

神が障害者を作ったのではない。人間が神と障害者を創ったのである一。障害者と健常者が共に「否定の否定」の弁証法によって類としての高次の人間存在になるための「障害社会科学」。著者の半世紀に及ぶ思想的到達点。

著：堀利和(ほり・としかず)

発行：社会評論社

本体価格：1,800 円 (税別)

ISBN : 978-4-7845-1749-7

▼『はぐくむ、はたらく、豊かに暮らす 障がいと向き合って』

社会福祉法人京都ライフサポート協会が追求し実践してきた世界観の中で、心身に障がいのある人が、施設で暮らし、働くというありのままの姿を写真とともに紹介する。Q&A も掲載。

編：京都ライフサポート協会

発行：創元社

本体価格：1,500 円 (税別)

ISBN : 978-4-422-32084-7

▼『不自由な脳 高次脳機能障害当事者に必要な支援』

言葉が出てこない、情報過多からパニックが起こる…。さまざまな症状を抱える高次脳障害者。その当事者が臨床心理士と対談し、自らの体験を語るとともに、心理職や現場の支援者に求める役割などにも言及する。

著：鈴木大介(すずき・だいすけ)山口加代子(やまぐち・かよこ)

発行：金剛出版

本体価格：2,400 円 (税別)

ISBN : 978-4-7724-1775-4

▼『障がいのある子が「親亡き後」に困らないために今できること』

福祉と相続の専門家 2 人が、知的・発達障がいのある子を前提に、「親のもしもの時」について解説。親亡き後の子の暮らし、財産対策、親として事前に準

備・対策しておきたいことなどを収録。残しておきたい「情報ノート」付き。

著：鹿野佐代子(しかの・さよこ)明石久美(あかし・ひさみ)

発行：PHP 研究所

本体価格：1,300 円 (税別)

ISBN：978-4-569-84801-3

▼『車椅子の人も片麻痺の人もいっしょにできる楽しいレク 30 新装版』

車椅子の人も、片麻痺の人も、かせる部分を思う存分に動かし、ムリをせずに楽しめるレク 30 種を紹介。ねらいやポイント、アレンジの仕方、アドバイスを詳述する。「車椅子の人も片麻痺の人もいっしょにできる楽しいレク 30&支援のヒント 10」(2010 年刊)の改題,「高齢者の体が自然と動く支援のヒント」を割愛。

著：斎藤道雄(さいとう・みちお)

発行：黎明書房

本体価格：1,700 円 (税別)

ISBN：978-4-654-07679-6

▼『重度・重複障害教育におけるカリキュラム評価

自立活動の課題とカリキュラム・マネジメント』

「自立活動」とは何を目指す指導なのか。「自立活動」を中心として「個を起点とする教育」が追究されてきた重度・重複障害教育。その成果と課題、教員養成及び教師の力量形成のあり方を、教師や保護者への調査から提示する。

著：一木薫(いちき・かおる)

発行：慶應義塾大学出版会

本体価格：3,800 円 (税別)

ISBN：978-4-7664-2697-7

▼『私の夫は高次脳機能障害です

本人・家族がおだやかに暮らすための妻たちの知恵一夫の行動研究から一』

高次脳機能障害の夫を支える妻たちの奮闘、努力、ユーモアあふれる対応、怒り、悲しみ、苦しみ、覚悟の仕方…。夫の受傷から奔走し続ける妻たちが、おだやかに暮らす知恵や困りごとなどを綴る。

監修：奥宮暁子(おくみや・あきこ)

編著：藪中弘美(やぶなか・ひろみ)

発行：医歯薬出版

本体価格：2,200 円 (税別)

ISBN：978-4-263-23745-8

▼『HSP と不安障害 「生きているだけで不安」なあなたを救う方法』

不安を過剰に抱えやすい HSP や不安障害の人にとって、生きづらい時代が続いています。コロナやお金、人間関係の不安から、原因がわからない不安まで、不安の原因と対処法を解説します。

著：高田明和(たかだ・あきかず)

発行：廣済堂出版

本体価格：1,400 円 (税別)

ISBN：978-4-331-52310-0

(編集後記)

- ・『障害者とともに働く』を、日本障害者協議会(JD)の代表である藤井克徳さんと、共著で書かせていただきました。

10月20日に、岩波ジュニア新書のシリーズとして、
発刊していただきました。

藤井さん、そして編集長の山本慎一さんには、学ぶことばかりでした。

- ・その3人で、会場とオンラインでのトークイベントを

12月11日(金)午後7時～8時15分まで行います。

有料で恐縮ですが、良かったら、覗きにきていただけたらとおもいます。

- ・オンライントークセッション 本の街で ころの目線を合わせる

岩波ジュニア新書、出版記念

著者と編集者で語りあう

『障害者とともに働く』

日時：2020年12月11日(金)19:00～20:15

会場：①オンライン会議ツール「ZOOM」 200名

②神保町ブックセンター 定員15名

参加費：オンライン700円、会場1,500円

(当日会場で著者本ご購入の方は、1ドリンクが付きます。)

主催：神保町ブックセンター 協力：J D / きょうされん / 岩波書店 /
合同出版 / 共用品推進機構

Peatix(ピーティックス)のイベントページ

<<https://kokorome-3-1.peatix.com>> よりチケットをご購入ください。

会場参加の場合は、お電話でもご予約を承ります。

電話 03-6268-9068 Mail info@jimbocho-book.jp

(星川安之)

共用品推進機構公式サイト <https://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース <https://www.kyoyohin.org/blog/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>